

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	民法Ⅳ	2	南部 あゆみ	
平成25年度以前	債権総論	4		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)):法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)):法律学(国際法を含む)政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				
<p>私たちのおこなう経済活動において、最も一般的な方法を契約といいます。この授業では、契約に主眼をおき、その内容、発生する権利義務、成立から終了までのプロセス、さらに様々なトラブルの解決方法を学ぶことをテーマとします。特に、売買契約の基本ルールについて、しっかりと理解することを到達目標とします。この授業は教職の教科科目です。そのため、債権総論については民法という法律の知識が、中学・高校教育においてどのような意味をもつのか、という点に配慮して講義をおこないます。</p>				
授業の概要				
<p>民法第三篇「債権」第一章「総則」を取り扱います。講義が中心ですが、判例を読んだり、択一問題を解くなど、演習の要素も組み込みながら、論点を具体的に理解できる構成とします。条文を参照せずに法律を理解することはできないので、必ず六法を携帯してください。</p>				
授業計画				
<p>第1・2回:ガイダンス／債権法の教育的な意味と必要性 第3・4回:契約の原則、契約の種類 第5・6回:債権の効力、履行の強制 第7・8回:債務不履行1／債務不履行の要件・効果、損害賠償 第9・10回:債務不履行2／損害賠償の範囲、契約の解除 第11・12回:受領遅滞 第13・14回:債務不履行の発展問題／契約準備段階の問題、付随義務 第15・16回:債権の保全的効力1／債権者代位権 第17・18回:債権の保全的効力2／詐害行為取消権 第19・20回:債権の消滅1／弁済、債権の準占有者 第21・22回:債権の消滅2／相殺、代物弁済、供託、更改、免除、混同 第23・24回:多数当事者の債権関係1／連帯債務 第25・26回:多数当事者の債権関係2／保証債務 第27・28回:債権譲渡 第29・30回:債務引受け、まとめ 定期試験</p>				
テキスト				
レジュメを用意します。六法必携。				
参考書・参考資料等				
森泉章、鎌田邦樹著『民法入門・債権総論』日本評論社 2006 奥田昌道ほか編『法学講義民法4債権総論』悠々社 2007				
学生に対する評価				
定期試験100%				

25年度以前
法律一般コース